

取組課題 1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

① 救急医療（一次（初期）・二次）の安定的な提供

〔計画 記載ページ P.43〕

救急災害医療センターの運営にあたりましては、24時間365日の救急患者に関して診療要請を断らない診療体制を構築し、やむを得ず救急患者への対応が困難な場合は、他の救急医療施設との連携を図ります。また、小児救急患者につきましては、川崎市小児科病院群輪番病院として、年間を通して夜間や休日における初期応需機関からの転送患者の受け入れを行うとともに、小児科専門医もしくは小児科救急医療を習得した医師が診療し、原則として、直接小児科病棟に入院します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①救急専門医、小児科医の安定的な確保
- ②川崎市二次救急輪番制への参加

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
救急自動車搬送受入台数	目標値			4,050件	4,087件	4,125件	4,162件	4,200件以上
	実績値	4,012件	4,148件	4,330件	4,468件	5,220件	5,727件	3,578件
	評価			2	2	1	1	5
救急患者数	目標値			11,900人	12,100人	12,400人	12,700人	13,000人以上
	実績値	11,851人	12,458人	12,591人	12,175人	13,023人	13,256人	7,820人
	評価			2	3	2	3	5

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和2年度の達成度

- ・成果指標の未達成の要因として、今年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ医療機関として対応しており、年度後半には、院内でのクラスター発生、神奈川県より緊急性の低い入院や手術の延期要請等があったことによる影響が大きいと考えられます。
- ・24時間365日の救急医療と小児2次輪番救急医療の提供を続けていますが、新型コロナウイルス感染症の流行や、緊急事態宣言発出による外出自粛等もあり、救急自動車搬送受入台数は、前年度を2,149件、目標値を622件、それぞれ下回り、同様に救急患者数も前年度を5,436人、目標値を5,180人、それぞれ下回る結果となったため、達成度を「E」としました。
- ・救急専門医は前年度比で1名増加、小児科医は前年度同様となりました。
- ・今後も、救急自動車搬送受入台数の確保及び救急患者数の受け入れ確保を積極的に実施していきます。

E
目標を大きく
下回った

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●救急専門医・小児科医の安定的な確保	目標値			3人・10人	3人・10人	3人・10人	3人・10人	3人・10人
	実績値	実施	実施	3人・10人	4人・11人	5人・9人	5人・9人	6人・9人
●川崎市二次救急輪番制への参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

② 災害医療機能の維持

[計画 記載ページ P.43]

災害拠点病院として、災害派遣医療チーム（DMAT）を保有・拡充し、被災地等に医療チームを派遣します。また、災害発生による孤立化（物資供給等の途絶時など）に備え、十分な食料、飲料水、医薬品の備蓄に努めます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①災害派遣医療チームの隊員の増員
- ②災害訓練の実施
- ③備蓄品（食料、飲料水、医薬品）の適切な補充・交換

<成果指標>

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
DMAT 隊員 養成研修 修了者数	目標値			5人	6人	7人	8人	8人
	実績値	4人	5人	6人	6人	12人	15人	11人
	評価			1	3	1	1	1
食料・飲料水・ 医薬品の院内 備蓄確保量	目標値			3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分
	実績値	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分
	評価			3	3	3	3	3



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・DMAT隊員養成研修修了者数が目標値を上回りましたので、達成度は「B」としました。 ・備蓄品については有効期限を確認し適時補充・交換を行っています。 ・前年度比で災害派遣医療チームの隊員は4名減少となりました。 ・災害訓練（10月）はコロナ禍での開催となり、規模を縮小した机上訓練としました。テーマを洪水時の水害対策とし、約80名が参加しました。完成した水害対策マニュアルを基に病院執行部や各部署の動きを検証し、災害に対する意識向上や再確認を続け、今後の活動に活かしていきます。 ・川崎市健康福祉局主催の災害時病院連携訓練（8月）を実施しました、想定シナリオによるEMIS入力訓練、川崎市MCS無線機を使用した通信訓練を行い、小規模ながら実践に備えた訓練となりました。 ・例年、年初に実施している多摩消防署との合同消防訓練は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。 ・今後も、災害派遣医療チームの隊員の増員、災害訓練・消防訓練の実施、備蓄品（食料、飲料水、医薬品）の適切な補充・交換を実施していきます。 	<p>B 目標を上 回って達成</p>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●災害派遣医療チームの隊員の増員	目標値	(日：日本DMAT) (県：県DMAT-L)		5人	6人	7人	8人	8人
	実績値	実施	実施	日5人 県1人	日6人 県0人	日9人 県3人	日12人 県3人	日9人 県2人
●災害訓練の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
●備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換	目標値			随時	随時	随時	随時	随時
	実績値	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

○ 診療機能強化と報告の推進

〔計画 記載ページ P.44〕

消化器がんの診断及び治療、肝がんの集学的治療、消化器早期がんに対する内視鏡的粘膜剥離術、その他悪性腫瘍に対する化学療法を積極的に行います。また、現在既に行っている「地域がん登録（神奈川県）」及び、平成28年1月から開始された「全国がん登録」にも参加します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①化学療法の積極的な実施
- ②「地域がん登録」、「全国がん登録」への参加

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
がん登録数	目標値			843件	845件	846件	848件	850件以上
	実績値	—	841件 <small>(平成26年分)</small>	610件 <small>(平成27年分)</small>	653件 <small>(平成28年分)</small>	602件 <small>(平成29年分)</small>	522件 <small>(平成30年分)</small>	610件 <small>(令和元年分)</small>
	評価			5	5	5	5	5
がん手術件数	目標値			310件	312件	315件	317件	320件以上
	修正目標値					330件	340件	350件以上
	実績値	307件	322件	333件	393件	397件	398件	372件
	評価			2	1	1	1	2



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・がん登録数は、前年度比で88件増加したものの、目標値を大きく下回りました。一方、がん手術件数は、前年度比で26件減少となる反面、目標値を22件上回っています。 ・化学療法件数は、前年度を309件、目標値を384件、それぞれ上回っています。腫瘍内科医師の交代もあり、前年度は一昨年度実績を下回ったものの、今年度は増加傾向となりました。 ・結果、がん手術件数は目標値を上回り、化学療法の件数も増加しましたが、がん登録数は目標値に比べ大幅な減少であったため、達成度は「D」としました。 ・今後も、化学療法の積極的な実施、「地域がん登録」及び「全国がん登録」への参加を継続していきます。 	<p>D 目標を下 回った</p>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●化学療法の積極的な実施	目標値		1,443件	1,443件	1,443件	1,443件	1,443件
	実績値	899件	1,187件	1,443件	1,511件	1,621件	1,518件

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

① 循環器内科における診療の充実

[計画 記載ページ P.44]

緊急性・重篤性のある疾患を対象とした、心臓カテーテル検査、ペースメーカー治療、カテーテル・インターベンション治療等を目的とする短期入院診療を充実します。また、経皮経管冠動脈形成術（PTCA）、不整脈、心臓ペースメーカーの専門外来を継続します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①循環器内科医の安定的な確保
- ②心疾患領域における短期入院診療の充実

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
心臓血管系造影件数	目標値			735件	736件	738件	739件	740件以上
	実績値	734件	753件	635件	727件	777件	668件	506件
	評価			5	3	2	4	5
循環器内科入院・外来延患者数	目標値			19,789人	19,792人	19,794人	19,797人	19,800人以上
	実績値	19,786人	21,339人	20,369人	20,623人	19,458人	17,117人	14,352人
	評価			3	3	3	5	5



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の未達成の要因として、今年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症患者の受入れ医療機関として対応しており、年度後半には、院内でのクラスター発生、神奈川県より緊急性の低い入院や手術の延期要請等があったことによる影響が大きいと考えられます。 ・循環器内科医は、前年度から1人減り、目標値と比べて2人確保できませんでした。心臓血管系造影件数は前年度を162件、目標値を234件、それぞれ下回りました。 ・心疾患領域における短期入院診療は148件と、目標値を92件下回り、入院延患者数が4,326人（前年度比 1,786人減）、外来延患者数も 10,026人（前年度比 979人減）となりました。 ・結果、心臓血管系造影件数、循環器内科入院・外来延患者数ともに目標値を下回りましたので、達成度は「E」としました。 ・今後も、循環器内科医の安定的な確保、心疾患領域における短期入院診療の充実に努めていきます。 	<p>E 目標を大きく下回った</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●循環器内科医の 安定的な確保	目標値		7人	7人	7人	7人	7人
	実績値	実施	実施	7人	7人	6人	6人
●心疾患領域にお ける短期入院診 療の充実	目標値		240件	240件	240件	240件	240件
	実績値	273件	238件	227件	262件	252件	241件

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

② 脳神経外科における診療の充実

〔計画 記載ページ P.44〕

脳卒中患者等に対する脳血管内手術はもとより、血栓溶解療法（t-PA治療）につきましては、発症後4時間半以内に緊急で対応します。また、脳出血、水頭症、下垂体腺腫などに対する神経内視鏡手術を行うとともに、脳腫瘍、脳血管障害、てんかん、認知症、頭痛の専門外来を継続します。当直、オンコール体制による緊急受入れに努め、地域医療に貢献します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①脳神経外科医の安定的な確保
- ②血栓溶解療法（t-PA治療）の実施
- ③専門外来の継続

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
脳血管系造影件数	目標値			215件	216件	218件	219件	220件以上
	実績値	214件	183件	133件	145件	95件	70件	61件
	評価			5	5	5	5	5
脳神経外科入院・外来延患者数	目標値			16,298人	16,299人	16,299人	16,300人	16,300人以上
	実績値	16,298人	14,850人	15,240人	15,602人	13,592人	13,503人	11,309人
	評価			4	3	5	5	5

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和2年度の達成度

・成果指標の未達成の要因として、今年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症患者の受入れ医療機関として対応しており、年度後半には、院内でのクラスター発生、神奈川県より緊急性の低い入院や手術の延期要請等があったことによる影響が大きいと考えられます。

・脳血管系造影件数は前年度を9件下回りました。

・延患者数も、入院が6,465人（前年比1,973人減）、外来が4,844人（前年度比221人減）にとどまりました。

・血栓溶解療法（t-PA治療）は、今年度も10件の実施と、前年度実績同様となりました。

・結果、脳血管系造影件数、及び脳神経外科入院・外来延患者数が目標値を下回ったため、達成度は「E」としました。

・脳神経外科医師数は前年度実績と同様となりました。また、神経内科と協力して当直体制を構築しています。

・今後も、脳神経外科における診療の充実を推進していきます。

E
目標を大きく下回った

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●脳神経外科医の 安定的な確保	目標値			4人	4人	4人	4人	4人
	実績値	実施	実施	4人	4人	4人	5人	5人
●血栓溶解療法 (t-PA治療) の実施	目標値			7件	7件	7件	7件	7件
	実績値	18件	16件	7件	14件	12件	10件	10件
●専門外来の継続	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

① 地域医療支援病院の運営と強化

[計画 記載ページ P.45]

平成23年3月より地域医療支援病院の運用を開始し、登録紹介医との緊密な連携を構築しています。外来患者の紹介・逆紹介に対する「かかりつけ医制度」を推進します。FAX検査予約等による検査機器の共同利用による医療機関の機能分化の強化と連携の推進に努めます。また、救急遠隔読影接続システムや地域の医療機関（医院・クリニック等）との地域連携システム（Human Bridge）を運用し、更なる連携を推進します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①登録紹介医制度の推進
- ②検査機器等の共同利用の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
紹介率	目標値	/	/	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%	65.0%以上
	実績値	67.9%	65.4%	67.6%	68.3%	70.7%	72.2%	71.9%
	評価	/	/	3	2	2	1	1
逆紹介率	目標値	/	/	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%以上
	実績値	51.8%	54.0%	54.5%	51.0%	53.0%	58.8%	65.9%
	評価	/	/	1	1	1	1	1
検査機器の共同 利用件数	目標値	/	/	4,729件	4,734件	4,740件	4,745件	4,750件以上
	実績値	4,724件	5,051件	4,549件	4,724件	4,343件	4,180件	3,122件
	評価	/	/	3	3	4	5	5



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の流行による影響が大きいと考えられます。 ・登録紹介医制度の推進については、川崎市医師会・歯科医師会と基本協定書を締結した医師を登録紹介医とし、緊密な連携を構築するよう活動しています。今年度は新規開業医とともに、多摩区歯科医師会所属の歯科医師も全員が紹介医として登録され、登録紹介医は475名となりました。 ・紹介率、逆紹介率は目標値を大きく上回りました。 ・検査機器等の共同利用は、コロナ禍ですべての高額医療機器の利用が減少し、特に11月の院内クラスター発生により、緊急性のある検査を除き、新規検査の受入れを制限したこともあり、目標値を下回りました。 ・結果、検査機器の共同利用件数は目標値を下回りましたが、紹介率・逆紹介率は目標値を大きく上回ったため、達成度は「B」としました。 ・今後も、登録紹介医制度の推進・検査機器等の共同利用を推進していきます。 	<p>B 目標を上 回って達成</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●登録紹介医制度 の推進	目標値			431名	431名	431名	431名	431名
	実績値	実施	425名	431名	436名	450名	466名	475名

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

② 地域包括ケアシステムの推進

[計画 記載ページ P.45]

在宅療養を支援するために、多摩区4か所の訪問看護ステーションと設立した「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」を更に充実させます。また、確立された紹介・逆紹介システムにより、相互のコミュニケーションの強化を図り、医療相談センター5部門の機能を更に充実します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①在宅療養を支援するため、地域の訪問看護ステーション等と意見交換を行う「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」の充実
- ②地域医師会との懇親会の定期開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域関係施設との 連絡調整会議への 参加回数	目標値			8回	8回	8回	8回	8回
	実績値	8回	4回	4回	10回	20回	21回	10回
	評価			5	1	1	1	1
有識者を参集して 行われた連携会議 等の回数	目標値			6回	6回	6回	6回	6回
	実績値	6回	4回	5回	6回	6回	6回	0回
	評価			5	3	3	3	5



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 標記会議等は、新型コロナウイルス感染症の感染予防を念頭に置き、実施しています。 ・ 地域関係施設との連絡調整会議は中止となるケースも見受けられましたが、リモート会議に切り替え、実施に漕ぎつけたものもあり、目標値を達成できております。一方で、参加人数が多く有識者を参集しての連携会議である「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」は、開催を見送らざるを得ませんでした。なお、地域医師会との懇談会は、蜜を避けるため6月に多摩市民館・大ホールをお借りして開催しており、達成度は「C」としました。 ・ 今後も、リモート会議のメリットを活かし、そのノウハウを定着させ、地域包括ケアシステムの推進に向け、多分野にわたる連携会議を積極的に開催し、参加していきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●「多摩区・病院と在宅ケアネットワークづくりを目指す会」の充実	目標値			4回	4回	4回	4回	4回
	実績値	4回	4回	5回	5回	5回	5回	0回
●地域医師会との懇談会の定期開催	目標値			1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	1回	1回	1回	1回	0回	1回

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

① 医療従事者の確保

[計画 記載ページ P.46]

必要な医療従事者と有資格者の配置、看護師確保のための学校訪問等を行うとともに、臨床研修医の受入れや医学生・看護学生の実習の受入れを実施します。また、医師・看護師の負担軽減を推進します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①病院実習生の受入れ
- ②病院見学・インターンシップの受入れ

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
基幹型臨床研修 医の受入れ	目標値			3人	4人	6人	7人	8人
	実績値	—	2人	6人	6人	7人	10人	10人
	評価			1	1	1	1	1
医師事務作業補 助者の人数	目標値			7人	7人	7人	7人	7人
	修正目標値					10人	10人	10人
	実績値	—	7人	10人	10人	16人	17人	17人
	評価			1	1	1	1	1



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・基幹型臨床研修医は、前年度同様、定員10人のフルマッチとなっています。 ・医師事務作業補助者は、前年度実績同様の17人となり、新型コロナウイルス感染症対応病床の確保もあって、医師事務作業補助体制加算は20対1を算定しています。 ・実習生等への対応については、新型コロナウイルス感染症の流行が大きく影響しています。 ・病院実習生（看護）の受入れは7施設（前年度14施設）、79人（前年度281人）となりました。 ・看護師の採用活動である学校訪問は控え（前年度4校）、合同説明会参加をwebにて1回（前年度6回）、多摩病院における病院説明会を5回（前年度17回）実施しました。また、看護師志望者の病院見学は38人（前年度36人）、インターンシップは38人（前年度75人）、それぞれ受入れています。 ・看護師採用試験は9回（前年度21回）実施しました。 ・職員の要望や苦情等を抽出、改善し、親睦を図るためのレクリエーション等を企画していましたが、多摩市民館・大ホールでの教職員への慰労会を行うにとどめ、コロナ禍のため自粛しております。 ・結果、基幹型臨床研修医の受入れ人数、及び医師事務作業補助者の人数がともに目標値を上回ったため、達成度は「A」としました。 ・今後も、基幹型臨床研修医の受入れ、医師事務作業補助者の増員を進めていきます。 	<p>A 目標を大きく上回って達成</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●病院実習生の受入れ（看護師）	目標値			139人	139人	139人	139人	139人
	実績値	実施	実施	139人	259人	277人	281人	79人
●病院見学・インターンシップの受入れ（看護師）	目標値			159人	159人	159人	159人	159人
	実績値	実施	実施	159人	164人	187人	111人	76人

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

② 職員の専門能力の向上

[計画 記載ページ P.46]

認定看護師・診療情報管理士などの育成を更に推し進めます。医師や看護師をはじめ職員の積極的な学会・研修への参加を推奨し、レベルアップ・キャリアアップの機会を提供します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ① 認定看護師取得のためのサポート
- ② 診療情報管理士の安定的な確保

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
認定看護師 の人数	目標値			9名	9名	9名	9名	9名
	実績値	9名	9名	9名	9名	9名	10名	10名
	評価			3	3	3	1	1
診療情報管理士 の人数	目標値			12名	12名	12名	12名	12名
	修正目標値					14名	14名	14名
	実績値	12名	13名	14名	16名	14名	16名	15名
	評価			1	1	3	1	2



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師は前年度実績同様の10名です。また、専門看護師（家族支援分野）1名も勤務しています。 ・診療情報管理士は、前年度比で1名減となったものの、退院患者数の減もあって引き続き「診療録管理体制加算1」を算定しています。 ・結果、認定看護師、診療情報管理士の人数は目標を上回りましたので、達成度は「A」としました。 ・今後も、認定看護師、及び診療情報管理士の増員を進めていきます。 	<p>A 目標を大きく上回って達成</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●認定看護師取得のためのサポート			実施	実施	実施	実施	実施
目標値			実施	実施	実施	実施	実施
実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(2) 医療安全の確保・向上

○ 医療安全の強化

[計画 記載ページ P.47]

医療事故防止及び迅速な対応のために、職員教育体制を整備し業務改善に取り組み、安全教育の啓発に努めます。また、院内感染対策に対する職員教育を徹底し、質の高い安全で安心な医療を提供します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①医療事故の防止及び迅速な対応
- ②医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置
- ③感染対策の十分な経験を有する医師・看護師等の配置
- ④感染制御チームによる活動の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	目標値			届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)
	実績値	—	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)
	評価			3	3	3	3	3



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・医療事故の防止及び迅速な対応については、医療安全に係る指針、規程に基づいて迅速な活動をしています。 ・医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置は、医療安全管理室副室長として専門の研修を受けた医療安全管理者を専従配置しています。 ・医療安全管理委員会(1回/月)については、室長・病院長・副院長(看護部長)・医師・薬剤師・事務・医療安全管理者で構成しています。また、各診療科、部署毎に1名のセーフティマネージャーを任命し、全体で50人程度を配置しています。 ・感染対策については、医療安全管理室所属の院内感染対策において十分な経験を有する医師・看護師等が活動しており、看護師については専従配置をしています。また、院内感染対策委員会(1回/月)について、室長・病院長・副院長・医師・看護師(専従)・臨床検査技師・薬剤師・事務で構成しており、感染対策チーム(ICT)のラウンドも毎週実施しています。 ・特にコロナ禍での感染対策には病院をあげて取り組んでおり、ダイヤモンドプリンセス号からの陽性患者受入れ以降、病院長を長とする対策会議を設け、緊急事態宣言下には毎日、まん延防止等重点措置の公示下でも月曜日、木曜日に定期的な会合を行っています。 ・今後も、「医療安全対策加算1」、及び「感染防止対策加算1」の体制確保を継続していきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療事故の防止及び迅速な対応	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施
●医療安全対策に係る研修を受けた専門看護師等の配置	目標値		1人	1人	1人	1人	1人
	実績値	1人	1人	1人	1人	1人	1人
●感染対策の十分な経験を有する医師・看護師等の配置	目標値		1人	1人	1人	1人	1人
	実績値	1人	1人	1人	1人	1人	1人
●感染制御チームによる活動の推進	目標値		週1回	週1回	週1回	週1回	週1回
	実績値	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

○ 分かりやすい情報提供と利用しやすい施設の強化

[計画 記載ページ P.47]

患者相談窓口を一元化した「医療相談センター」において、各種医療福祉制度の活用や退院後の療養環境に関する相談から、看護・栄養・薬剤・リハビリ相談や地域医療機関の御案内など、さまざまな御相談に応じています。また、市民・患者に対してより理解し易く情報を提供するためにホームページを改訂するとともに、市民の健康増進や介護知識の習得に向けた市民健康講座などを、引き続き開催します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化
- ②ホームページの内容の充実
- ③市民健康講座の開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入院患者満足度	目標値	/	/	86.8%	87.4%	88.0%	88.6%	89.3%以上
	実績値	-	85.4%	88.7%	83.2%	84.9%	86.4%	90.0%
	評価	/	/	3	3	3	3	3
外来患者満足度	目標値	/	/	77.8%	78.7%	79.7%	80.7%	81.7%以上
	実績値	-	77.0%	78.4%	78.6%	73.5%	79.1%	85.6%
	評価	/	/	3	3	4	3	3



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行による影響が大きく、満足度調査は年1回の実施にとどめましたが、入院、外来患者満足度ともに前年度、目標値をそれぞれ上回ったため、達成度を「C」としました。 ・ホームページのリニューアルに向け、粛々と作業を進めています。 ・市民健康講座は新型コロナウイルス感染症の感染予防を念頭に置き、会場に来ていただく形式から、web配信に切り替えました。開催回数は、前年度の6回から3回と減少していますが、前年度の参加者数(366人)と比較して、web配信では延べ数で3,549件のアクセスをいただいています。 ・今後も、入院、及び外来患者満足度調査を継続し、市民の声に答えていきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療相談センターにおける患者相談窓口の一元化	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
●ホームページのリニューアルと内容の充実	目標値			随時	随時	随時	随時	随時
	実績値	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
●市民健康講座の開催	目標値			6回	6回	6回	6回	6回
	実績値	6回	6回	8回	7回	6回	5回	3回

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

〔計画記載ページ P.48〕

医療機能の充実・強化を進めるとともに、病床等の限られた資源の効率的・効果的な活用や適切な診療報酬請求・未収対策の強化等により、診療収入の確保を進めます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①医療機能の充実・強化による診療収益の確保
- ②精度の高い診療報酬請求
- ③未収金督促・催告の強化

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
医業収益の額	目標値			87.4億円	88.0億円	88.5億円	89.1億円	89.7億円以上
	実績値	86.8億円	93.3億円	91.6億円	93.6億円	96.8億円	96.1億円	82.6億円
	評価			3	2	2	2	4
入院患者1人1日 当たり診療収入 (入院診療単価)	目標値			55,174円	55,330円	55,487円	55,643円	55,800円以上
	実績値	55,017円	56,047円	55,560円	55,352円	57,464円	57,355円	64,616円
	評価			3	3	3	3	1
外来患者1人1日 当たり診療収入 (外来診療単価)	目標値			11,609円	11,632円	11,654円	11,677円	11,700円以上
	実績値	11,586円	12,992円	13,089円	12,827円	13,556円	14,349円	14,991円
	評価			1	1	1	1	1
病床利用率	目標値			80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%以上
	実績値	78.2%	81.0%	79.2%	82.9%	81.9%	83.0%	64.9%
	評価			3	3	3	3	5



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標未達成の要因として、今年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症患者の受入れ医療機関として対応しており、年度後半には、院内でのクラスター発生、神奈川県より緊急性の低い入院や手術の延期要請等があったことによる影響が大きいと考えられます。 ・医業収益は前年度実績、目標値とも大幅に下回りました。延患者数、手術件数とも減少する反面、診療が不可欠な患者の来院、入院により診療単価が前年度実績、目標値を大きく上回っています。 ・精度の高い診療報酬請求は、レセプト委員会（医事課主催）を定期的に関催し査定・返戻の状況を事例共有し、診療科ごとに発表、検討を行っています。 ・未収金督促、催告の強化は、電話や文書による督促に加え、未収金予防策として、ソーシャルワーカーや医事課職員の早期介入を行っています。（コロナ関連の公費手続の調整に時間を要したため、電話催促の件数が目標値を下回っています。） ・結果、入院及び外来診療単価が増加となる反面、病床利用率、医業収益は目標値を下回る結果となったため、達成度を「C」としました。 ・コロナ禍とはなりますが、今後も、診療収益の確保ならびに未収金督促の強化について取り組んでいきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療機能の充実・強化による診療収益の確保	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
●精度の高い診療報酬請求 【レセプト査定率】	目標値			0.55%	0.55%	0.55%	0.55%	0.55%
	実績値	0.37%	0.56%	0.54%	0.50%	0.37%	0.33%	0.35%
●未収金督促・催告の強化 【電話催促のみ】	目標値			550件	550件	550件	550件	550件
	実績値	543件	384件	504件	632件	514件	386件	297件

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

[計画 記載ページ P.48]

医療材料や医療機器等の購入費用の節減、材料等の適正な在庫管理などにより、経費の節減に努めます。また、業務改善や効率的な業務執行などにより、時間外勤務の縮減を進めます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①適正な在庫管理
- ②業務効率化による時間外勤務の縮減

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職員給与費対 医業収益比率	目標値			51.4%	51.8%	52.3%	52.7%	53.1%以下
	実績値	51.0%	47.8%	50.3%	51.1%	51.5%	52.7%	63.0%
	評価			3	3	3	3	5
委託費対 医業収益比率	目標値			15.1%	15.0%	15.0%	14.9%	14.9%以下
	実績値	15.1%	12.9%	13.9%	14.3%	14.1%	14.2%	17.4%
	評価			2	3	2	3	5

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・適正な在庫管理は、物流センターによる全部署の在庫見直しを前年度までの1回から、年2回（上期、下期）の実施とし、その他必要に応じて随時対応しています。 ・業務効率化による時間外勤務の縮減については、今年度より「医療従事者負担軽減委員会」において病院勤務医・看護師・コメディカルをはじめ病院スタッフの役割分担の推進・負担軽減・処遇改善に係る計画を評価、検討をしています。 ・時間外勤務の管理は、月前半での評価を部署ごとで把握し、改善するよう注意喚起をしています。 ・今後も、適正な在庫管理ならびに業務効率化による時間外勤務の縮減の推進を実施していきます。 	<p>E 目標を大きく下回った</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●適正な在庫管理	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
●業務効率化による時間外勤務の縮減	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(3) 経営管理体制の強化

[計画 記載ページ P.49]

各職員が病院の経営状況を把握するために、毎月、各診療部長ならびに部門長・現場責任者の幹部職員が一同に会する会議で、収支報告並びに今後の体制に関する変更内容を周知するとともに、病院上層部と医事、会計、医療情報の各部門が一同に会した経営戦略会議を行い、今後の対応を検討します。また、月に一度、法人上層部に収支報告を行い経営改革を推進します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ① 幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知
- ② 経営戦略会議の開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経営戦略会議 開催数	目標値			11回	11回	11回	11回	11回
	実績値	11回	12回	12回	12回	12回	12回	12回
	評価			2	2	2	2	2



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知については、年11回開催（8月休会）している管理運営会議において周知しています。 ・ 経営戦略会議では、病院の収支を共有し、改善へ向け検討しています。平成27年度以降年間12回開催しており、目標値を上回ったため、達成度を「B」としました。 	<p>B 目標を上 回って達成</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
● 幹部会議を通じた収支状況等の各職員への周知	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施